

らんどう会



赤組の応援合戦

せんべいに夢中で
車を走せがないうさみん

12月10日、潮寿荘、潮太郎で練習を積み、楽しみに待っていた『運動会』が実施されました。競技は、玉入れ、車椅子煎餅食い競争、ボール渡し、など定番の種目に今年は、歌合戦と職員の綱引きを加えました。最初、綱引きは危険ではないかという声もありましたが、逆転優勝もあるという最後の競技。いざ「スタート!」の合図が出ると、綱を体に巻いて両者本

気の引く張り合い。「赤組負けるなあー」やら「白組勝つぞー」といった沢山の入居者さんからの声と、職員の「ヨイシヨ、ヨイシヨ」「あーっ」といった叫びが響き渡りホールは熱気に包まれました。観ている方も、体に力を入れて、一体となって興奮してくれましたが、二戦交え両方赤組が勝利し、白組逆転ならず赤組が運動会の勝者となりました。



夢中にボールへ手を伸ばす白組

応援DVDを観ながらのおやつタイム。競技中から良い香りを漂わせていた熱々のホットケーキを食べたら、いよいよ表彰状の授与式。『くす玉割』は手違いで、赤組、白組両方とも割られてしまいました。優勝トロフィーは赤組代表の義丸さんにしっかり手渡され、それぞれのチームに「頑張ったで賞」など個人賞を授与し運動会は無事終了しました。来年の運動会も同じ事をやって喜ばれるのではなく、違う内容の企画を入れて楽しんでもらいたいと思いました。



「綱引き」

赤組の力強さに圧倒される白組
あれ?審判の小川事務長も白組に!?

潮寿荘 だより 成りキヨ

平成27年1月15日発行
発行：特別養護老人ホーム 潮寿荘
記事：1月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：成田 キヨ(92歳)

12kgのおちをつく



鈴木介護士と一緒につく

12月27日は、朝から『餅つき』です。潮寿荘、潮太郎の皆さん、はっぴに着替え「よいしょっ!よいしょっ!」とかけ声の練習をしながらも、やる気十分。そこに蒸かしたてのお米が運ばれてきて臼に入れられます。まずは「体を鍛えた」高奇介護士がつき、お米が潰れてきたところで入居者さんに替わりました。征夫さんは「餅つきのためなら」と車椅子から足を下ろして気合い満々。小柄で痩せている久美子さんも大きい方の臼を選んで「ヨイシヨ、ヨイシヨ」と餅をついて下さり、高奇介護士は入居者さんが

餅をついたたび「〇〇さん頑張っ!」と大きな声でいつも以上に高いテンションで皆さんを盛り上げていました。全部で12kg、お正月の分の餅までつき終えると、つきたて餅でお昼ご飯です。例年はあんこが一番人気なのですが今回はゴマ、みたらしが人気でした。ちなみに例年不人気で外そうかと検討中の辛み餅(大根おろし)は今年も不人気でした。全種類を一通りお代わりする方、好きなものだけをひたすらお代わりする方、スタイルはそれぞれですが、皆さん楽しんで召し上がって下さいました。(潮寿荘で胃瘻を含む52名のうち、49名の方がお餅を召し上がっています) (毎日晩酌を楽しみに仕事を頑張る介護士 丹羽)



キヨさん 高奇介護士